



# 学校だより

福島県立郡山支援学校  
令和2年7月31日  
令和2年度 第1号



校長 齊藤 恵子

## 学校づくりは授業づくり

学校は、子どもたちと教員そして保護者の3者のつながり合い、響き合いが大切だと思っています。そして、その基盤となるのが授業であると考えています。

学校を見渡すと、子どもたちの思いがあふれた作品に個性を感じたり、教員の自作教材に柔軟なひらめきを感じたりします。また、医療的ケアが行われている場面では、保護者の皆さんのさりげない工夫を感じます。こういった発見は、子どもたちを中心とした授業の様子が想像され、とてもうれしくなります。

先生たちには、子どもたちを変える授業ではなく、子どもたちが変わる授業をお願いしています。子どもたち一人ひとりが、自分の「よさ」を知り、可能性を広げながら主体的に活動してほしいと願っているからです。子どもたちが変わる授業づくりを大切にして、子どもたち一人ひとりの「よさ」が輝く学校づくりを行っていきたいと思います。

郡山支援学校は、「安心・安全な学べる環境づくり」をしています。  
～医療的ケアの実施、食べる力を育てる指導、寄宿舎生活～

## 安心・安全な医療的ケアの実施のための医師・看護師との連携

教員は、看護師の医療の専門性を活かして、協力して児童生徒が学習に集中できるような支援や環境づくりに努めています。そのためには日頃からの情報交換と、ケアを行う際の声の掛け合いを大切にしています。

また、指導医である総合療育センターの森田医師による巡回指導が年に13回実施されます。その際の、児童生徒のケアについて適切なアドバイスは、「安心・安全」な医療的ケアの実施につながっています。

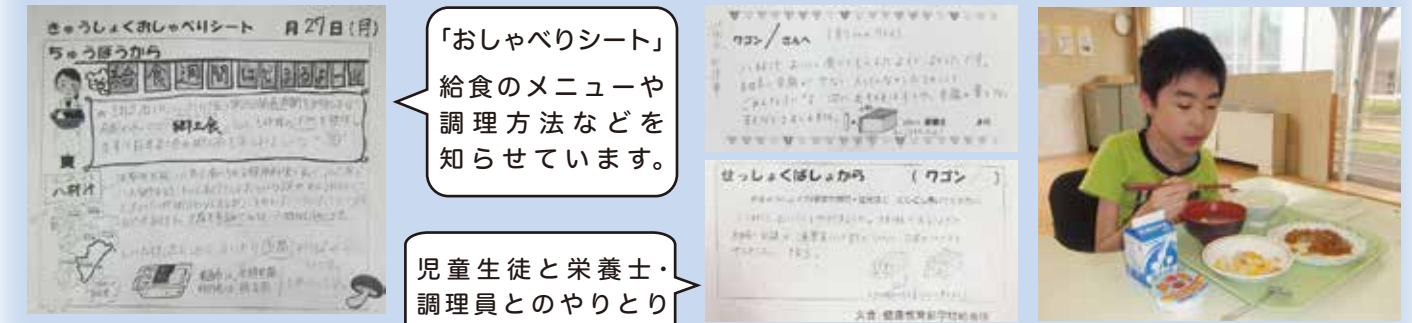


新1年生の  
経営栄養

中学1年生の  
水分注入の様子

## 「食べる力」を育てるための「おしゃべりシート」の活用

「食べる力」を育てるために、食べ物に興味関心をもちながら楽しい食事ができる環境をつくっています。「おしゃべりシート」で知らせた給食のメニューや食べ物の名前、調理方法などを話題として話すことで、食事が楽しい時間となっています。「おしゃべりシート」に記入した給食の感想や質問・意見には栄養士からの返答があり、栄養士や調理員とのやりとりも楽しんでいきます。



「おしゃべりシート」  
給食のメニューや  
調理方法などを  
知らせています。

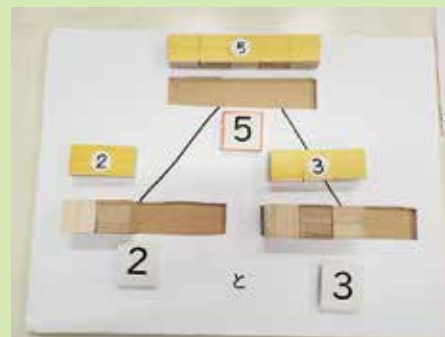
児童生徒と栄養士・  
調理員とのやりとり

## 主体的な学びの工夫～数学の授業づくり

数学科の授業において、5の数のまとまりを2つの数に分ける学習に取り組みました。見て分かりやすい教材を使って自分で操作したりすることで、学習内容を理解して、集中して取り組むことができました。日常生活の中でも取り入れることで、「2と3で5」などまとまりを意識した数え方ができるようになってきています。



数字を見て自分でマグネット  
をわけました。



自分でわけたブロックを数字の  
分だけあるかどうか、答え合わせ  
をしています。



5をいくつに分解したかブロック  
を数えて数字カードをはって  
います。

## 寄宿舎での生活

新たに7名の新入生を迎え新年度が始まりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用や検温、換気に気をつけ、活動は、ゾーン毎に行っています。食事でもソーシャルディスタンスを守るべく、テーブルを離しています。2学期からも舎生同士が互いに助け合い励まし合いながら様々な経験を積む機会が得られるように、生活の支援・指導に取り組んでいきたいと思っています。



食事の様子

ゾーン毎の活動

ご感想・ご意見をお寄せください：TEL024-951-0247 <https://koriyama-sh.fcs.ed.jp>